新ホテルシステム機能要件
(1)基本要件

別紙1（1）

◆仕様書別紙１_基本要件

適用業務	機能項目／名称	NO.	詳細内容／要件	備考
共通	内部統制管理 （セキュリティ）	1	ログインＩＤ・パスワード及びログインＩＤに紐付く担当者が管理可能なこと。	
		2	ログインＩＤ毎のメニュー画面設定により、処理可能な画面・帳票が制御可能なこと。	
		3	ログインＩＤ毎の操作履歴の参照ならびに管理帳票が出力可能なこと。	
	システム構成	4	クライアント側にプログラムが必要な場合は、その管理を一括して行い、クライアントの増設や故障時の復旧の際には自動インストール行なうなどプログラムの更新管理が容易なこと。	
		5	クライアントは最新のＯＳ（windows11）に対応していること。	
		6	安定して普及率の高いOS(windows11)で稼働すること。	
		7	同一のソフトウェアで構築すること。	
	画面起動・切替など	8	複数画面が同時に起動可能で、並行した処理が可能なこと。 同時起動は同一画面でも行えること。	
		9	各種登録画面でフォントサイズの変更や、不必要な項目を画面から削除または入力不可にする等、画面のカスタマイズが端末毎に可能なこと。	
	データ活用	10	照会系画面の表示データをExcelへ展開（ＣＳＶ出力）可能でデータを有効活用できること。	
運用	運用性	11	24時間365日運用が可能なこと。	
	サポート体制	12	平日の9時00分から17時00分までは電話による問合せや質問等を受け付けるサポート体制があること。	
		13	一般的な操作の問合せであれば、問合せ先が直接対応出来ること。	
	クラウドセンター	14	クラウドセンターは日本企業が運営しており国内に所在していること。	

新ホテルシステム機能要件
(2) 宿泊管理

◆仕様書別紙１_宿泊管理　　別紙1（2）

適用業務	機能項目／名称	NO.	詳細内容／要件	備考
予約管理	残室・予約入込管理	1	日毎・部屋タイプ毎の残室数及び予約室数が表示可能なこと。	
		2	1画面で複数月(6ヶ月分程度)の残室数及び予約室数が表示可能なこと。	
	ブロックコントロール（残室管理）	3	団体(国内競技団体等をいう。以下同じ。)及び個人の利用中の室数管理(利用室数の把握)が可能なこと。	
		4	1画面で日毎に団体及び個人毎・部屋タイプ毎の予約数・残室数が表示可能なこと。	
		5	上記画面で提供室数の増減設定が可能なこと。	
		6	上記画面にホテル管理分のタイプ別残室情報も表示すること。(効率的なブロックコントロールのため)	
	予約登録（基本情報管理）	7	宿泊予約の登録、変更、取消処理が可能なこと。	
		8	本予約、仮予約、キャンセル待ちの管理が可能なこと。	
		9	個人予約・団体予約の管理が可能なこと。	
		10	予約登録画面で残室情報、タリフ(基本料金表)情報、プラン情報が照会可能なこと。(効率的な予約受付業務を行なうため)	
		11	予約登録処理後に受付内容が表示され、宿泊者との最終確認のガイダンスとして利用可能なこと。	
	予約登録（顧客及びﾘﾋﾟｰﾀ管理）	12	予約登録時に、氏名、電話番号をキーとして顧客及びリピータのチェックが可能なこと。該当顧客（もしくはリピータ）の基本情報や利用履歴が自動的表示可能で予約情報として連携登録可能なこと。	
		13	連携時、該当顧客（もしくはリピータ）情報に特記事項や手配事項が管理されていた場合、予約情報として取込可能なこと。	
		14	登録済の団体は、コードNo.より団体名や請求先名の登録が可能なこと。	
	予約登録（メモ管理）	15	メモ事項が管理可能で、メモ毎に「通知日」「内容」「状態（完了/未完了）」「区分（一般/クレーム）」が管理可能なこと。	
		16	メモは1件の予約で複数件管理可能なこと。	
		17	メモがチェックインやチェックアウト処理時、画面に強制的に特記事項が表示されること。（宿泊者サービス向上のため）	
		18	メモは、顧客データへ自動登録「する」「しない」連携処理が可能なこと。（宿泊者サービス向上のため）	
	予約登録（手配事項管理）	19	手配事項が管理可能で、手配毎に「数量」「状態（完了/未完了）」「完了日」「完了担当者」が管理可能なこと。	
	予約登録（分析用項目管理）	20	分析用の各種項目が管理可能なこと。各項目内容はマスターで自由に作成可能なこと。	
	予約登録（希望部屋管理）	21	希望部屋やフロアー、希望客室属性（エレベータ近く・低層階等）等が管理可能でプレアサイン処理にも引継げること。	
	団体メンバー管理	22	登録済団体の利用者情報について、利用者名等を記載したExcelファイル又はテキストファイルを読み込み、利用者情報を一括登録・更新できる機能を有すること。	
	予約登録（特殊条件管理）	23	連泊で例えば「1泊目がルームチャージ」、「2泊目が1泊朝食付」といった内容を1件の予約として管理可能なこと。	
		24	連泊で例えば「1泊目が2部屋」、「2泊目が3部屋」といった内容を1件の予約として管理可能なこと。	
		25	滞在期間が例えば①12月24日～12月26日②1月5日～1月6日③1月14日～1月15日とバラバラな予約（中抜け予約）を1件のデータとして管理可能なこと。	
		26	上記のバラバラな予約を、部屋別だけで無く、人別に滞在期間、プランの管理が可能なこと。	
	予約登録（部屋指定予約管理）	27	常連の宿泊者等、部屋指定があった場合、予約登録で部屋の押さえが可能なこと。	
	予約登録（ロスト予約管理）	28	ロスト予約（キャンセル）の管理が可能で任意の期間のロスト予約一覧表が出力可能なこと。	
	予約金管理	29	予約金の管理が可能でチェックイン時に引継がれること。	
	外部予約連携	30	宿泊施設向け予約管理サービスであるTL-リンカーンからの予約データが連携登録可能なこと。	
	プレアサイン	31	予約毎に条件に応じたアサイン可能部屋を表示させ、プレアサインが可能なこと。	
		32	アサイン可能部屋の表示は、「フロアー」「属性」「最終利用日」「総利用回数」等の項目をキーとして並べ替えが可能なこと。	
		33	アサイン可能部屋は「フロアー」「ルームNo」「属性」を条件に抽出が可能なこと。	
		34	プレアサイン画面で団体メンバー等の宿泊者名の登録が可能なこと。	
		35	複数予約のプレアサインが一括で可能なこと。	
フロント	チェックイン登録（基本処理）	36	チェックイン、ウォークイン、団体一括チェックイン、団体個別チェックイン、チェックインキャンセルが可能なこと。	
		37	チェックイン時に予約と異なる部屋タイプへの変更が可能なこと。	
		38	チェックイン時に予約と異なるプランや宿泊料金に人別に変更が可能なこと。	
		39	チェックイン登録画面で未到着者、メモ情報、手配情報が照会可能なこと。（効率的なフロント業務を行なうため）	
		40	「チェックイン表示メモ」がある予約はチェックイン処理の過程で強制的にメモが表示されること。（宿泊者サービス向上のため）	
		41	チェックイン画面で駐車場料金等、追加利用明細の登録が可能なこと。	
	チェックイン登録（その他）	42	チェックイン処理時に前受け金に対する領収書の発行が可能なこと。前受け金は「現金」「クレジット」「クーポン」「バウチャー」など、最大2種類の支払種別に対応可能なこと。	
		43	発行する領収書の分割や宛名を設定や変更が可能なこと。	
		44	チェックイン処理時に夕食・朝食・昼食後との食事会場と利用時間の登録が可能なこと。	
フロント会計	レジ訂正	45	チェックイン後の宿泊料金や支払条件等の変更が可能なこと。	
		46	連泊の宿泊客等で、当日より先の宿泊料金や日時締め処理後の過去の宿泊料金の訂正が日毎に可能なこと。	
		47	宿泊者の住所や会社名等詳細情報の登録や修正が可能なこと。	
		48	ルームチェンジが可能なこと。	

新ホテルシステム機能要件
(2) 宿泊管理

適用業務	機能項目／名称	NO.	詳細内容／要件	備考
	レジ訂正 （特殊処理）	49	滞在期間中の追加チェックインやアウトが人別に可能なこと。	
	利用伝票管理 ・途中入金管理	50	部屋毎、科目毎に追加利用伝票の登録、変更、削除が可能なこと。	
		51	人別に追加利用伝票の登録、変更、削除が可能なこと。	
		52	利用明細を他の部屋へ振り替えることが部屋毎や人別に可能なこと。	
		53	途中精算が可能なこと。途中精算は複数明細の精算や任意の明細のみの精算でも可能なこと。	
		54	部屋毎に途中入金の管理が可能なこと。途中入金は「現金」「クレジット「クーポン」毎に管理可能なこと。	
	チェックアウト （基本処理）	55	部屋毎にチェックアウト、チェックアウトキャンセル、仮請求書発行、再発行、途中精算が可能なこと。	
		56	請求書の分割が可能なこと。またチェックアウト画面で請求書毎の宛名の変更や入力、支払種別の設定が可能なこと。	
		57	ダミーでの請求書発行が可能なこと。	
		58	中抜け連泊客がいた場合、その時点の利用料金を保留して、チェックアウトすること（ホールドチェックアウト）が可能なこと。	
	チェックアウト （特殊処理）	59	人別精算が可能なこと。	
	チェックアウト （一括精算関連）	60	指定出発日の未精算残高がある部屋の一覧が表示可能なこと。請求書分割がされている場合、請求書単位で表示されること。	
		61	未精算残高がある複数部屋の一括途中精算やチェックアウトが可能なこと。請求書分割がされている場合、請求書単位で可能なこと。	
	支払変更	62	チェックアウト後の支払種別の変更が可能なこと。	
食事管理		63	人別に「朝食」「昼食」「夕食」の食事内容と食事場所の予約と実績が管理可能なこと。	
		64	宿泊を伴わない食事の管理が可能なこと。	
		65	人別に食券発行が可能なこと。 ※Excel等の外部管理ツールによる代替運用を可能とする。	
利用実績管理		66	予約毎の宿泊代と食事代の利用実績が、目的別に管理可能なこと。 利用実績は利用部屋がチェックアウト後も修正可能なこと。	
		67	システム利用期間中、顧客に紐づく宿泊利用実績（利用日、氏名カナ、宿泊期間、利用合計等）が参照可能なこと。	
清掃管理	清掃管理システム	68	部屋毎の「未清掃（チェックアウト）」「清掃中」「清掃完了」「点検完了」のステータスが管理可能なこと。	
		69	清掃スタッフがタブレットやスマートフォンで未清掃部屋やチェックイン予定部屋の確認が可能なこと。	
		70	清掃スタッフがタブレットやスマートフォンで「清掃中」「清掃完了」の処理が行えること。	
		71	清掃管理システムはルームインジケーション画面と連動していること。	
情報照会	メモ照会	72	指定到着日の予約に付随するメモを一覧で照会可能なこと。またメモ区分(クレーム/一般)やメモ状態(完了/未完了)、部屋No.で絞込可能なこと。	
	手配一覧照会	73	指定到着日の予約に付随する手配を一覧で照会可能なこと。また手配品毎や予約毎で絞込可能なこと。	
	日別数量照会	74	指定利用日(範囲指定可)における日毎・手配品毎の予約数量が参照可能なこと。また手配品毎の絞込が可能なこと。	
	氏名検索	75	指定日における各ステータス（予約/到着/滞在/出発）毎の予約者及び宿泊者の検索照会が可能なこと。	
	ルームインジケーション （客室状況管理）	76	指定日の各部屋のステータス（到着予定/滞在/出発予定/出発済/空室）や清掃状態（未清掃/清掃中/清掃済/点検済/優先清掃）が表示可能なこと。	
		77	表示部屋はステータスや清掃状態で絞込可能なこと。	
		78	表示後、対象部屋を選択し、予約変更やチェックイン、チェクアウト処理等へデータの引継ぎ利用が可能なこと。	
		79	PC画面の1画面でスクロール無しで全室のステータスが表示可能なこと。	
		80	任意の部屋を選択すると、滞在者や到着予定者の詳細情報が参照可能なこと。	
	フロアインジケーション （フロア状況管理）	81	指定日・フロア一単位で各部屋の出発者及び到着者の情報が参照可能なこと。	
	ルームコントロール	82	指定日の各種部屋数が参照可能なこと。 ①総室数②利用停止部屋③宿泊可能部屋④滞在部屋⑤着予定部屋⑥デイユース⑦残室残⑧出発済⑩空室⑪出発予定	
	利用明細照会	83	指定日(範囲指定可)の売上及び入金科目が一覧で照会可能なこと。また部屋No.や科目で絞込が可能なこと。	
	現金照会	84	チェックイン、チェックアウト処理を実施する端末毎に、入金種別単位での残高が表示可能なこと。	
	パッケージ管理	85	複数の料金科目を組み合わせてパッケージの作成ができること。	
		86	日毎の料金をカレンダー表示しつつ、簡易に設定可能なこと。	
		87	パッケージに付随する手配品の管理が可能で、該当パッケージで予約を登録した場合、手配品も自動的に登録されること。	
分析機能	予約入込分析	88	宿泊予約に関し、指定日（範囲指定可）で日毎に部屋タイプ毎もしくはプラン毎の入込数（室数/人数/室料/利用合計）の表示が可能なこと。なお以下のような項目をキーとして絞込が可能なこと。 予約種別（個人/団体/合計）、目的、稼働率、前年実績の表示	
		89	表示情報はExcel展開（CSV出力）が可能なこと。	
	予約実績分析	90	期間、複数の（縦2個、横1個など）分析軸（分析項目）を指定して、予約・実績の室数・人数・金額の分析が可能なこと。 また基準日を基にした予約室数の分析が可能なこと。	
		91	表示情報はExcel展開（CSV出力）が可能なこと。	
帳票全般	プレビュー・データ出力	92	各種帳票出力データはプレビューやCSV、Excel等へ出力可能なこと。	
	チェックアウト&チェックインリスト	93	1票でチェックアウトリストとチェックインリストに必要なルーミングのデータが出力可能なこと。 滞在者毎に94項の情報が出力されること。	
	ルーミング	94	チェックアウト：①予約番号②団体名③宿泊者名④部屋番号⑤入館日 チェックイン：①予約番号②団体名③宿泊者名④部屋番号⑤出発日	